

最近の景況・業況の動向についてのアンケート調査 集計結果

調査概要

- 調査時期 / 令和5年9月8日（金）～10月18日（水）
- 調査対象 / 当所会員1,721名（9月1日現在）
- 調査方法 / 会報掲載、FAX・フォームでの回答
- 回答数 / 234件
- 回答業種 / 製造業31%、建設業21%、小売業18%、卸売業4%、サービス業26%

結果の詳細は
右のQRコード
からも確認
できます。

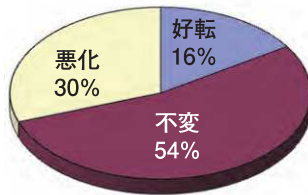


1. 景況・業況の動向

(1) 景況感

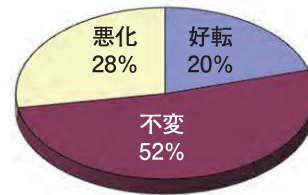
・前期と比べた今期の状況（7～9月）

		合計	製造	建設	小売	卸売	サービス
1	好転	37	12	4	4	1	16
2	不変	125	37	34	18	5	31
3	悪化	71	23	10	19	4	15



・今期と比べた来期の見通し（10～12月）

		合計	製造	建設	小売	卸売	サービス
1	好転	46	17	5	5	2	17
2	不変	116	33	27	20	4	32
3	悪化	62	18	12	16	4	12



(2) 景況感の判断理由

- (製造業) 物価高により一般のプロパー商品の物量が減少している。
- (製造業) 燃糸工場の減少により、仕事量はあるものの単価UPもしてもらっているが、電気料の値上げや資材価格のUPにより利益は微減している。
- (建設業) 大工工事の下請けですが、単価が下がり仕事量が増え、日当割れが多い。
- (建設業) 受注の減少、既製品の台頭（当方注文家具）。
- (小売業) 婦人服小売のため旅行業界が景況良くなれば売上となる。
- (小売業) 前期(R5.4～6)上半期は昨年と比べても好転していたが、R5.7月～は暇な時期なので全て下がっている。
- (サービス業) コロナ前との比較で売上は50%程度のため、資金繰りに苦慮している。
- (サービス業) 物の値段があがりすぎて、外食に回す金額も回数も減って行くと思う。
- (サービス業) 利用人数ベースでは、コロナ禍前に戻っていない背景がある。単価的に少し増額はしているが。
- (サービス業) コロナ、ウクライナ等が落ち着くまでは景況は良くならない。また電気、油関係の光熱関係の高騰が景況の足を引っ張っている。

2. 補助金について

(1) 貴社が過去3年以内にご申請された補助金は。(複数回答可)

※複数回答可		合計	製造	建設	小売	卸売	サービス	
1	小規模事業持続化補助金	37%	23	6	4	8	1	4
2	事業再構築補助金	11%	7	3	1	0	0	3
3	事業承継・引継ぎ補助金	6%	4	2	0	1	1	0
4	IT導入補助金	6%	4	0	1	2	0	1
5	ものづくり補助金	8%	5	3	0	0	1	1
6	新分野チャレンジ補助金	6%	4	1	0	0	0	3
7	まちなか補助金	0%	0	0	0	0	0	0
8	新商品開発助成事業	5%	3	2	0	1	0	0
9	がんばる補助金	21%	13	5	1	2	0	5

申請された補助金として「小規模事業者持続化補助金」との回答が最も多く、続いて「がんばる補助金」との回答が多い結果となりました。

(2) 今後、貴社が望まれる補助金はどのような内容ですか。(複数回答可)

※複数回答可		合計	製造	建設	小売	卸売	サービス	
1	販路開拓・販売促進	13%	14	3	2	4	2	3
2	設備投資	26%	28	5	6	5	1	11
3	新商品・新サービス開発	9%	9	5	0	1	2	1
4	人材登用・人材育成	10%	11	3	2	0	1	5
5	創業支援	2%	2	1	0	0	1	0
6	事業承継	9%	9	2	2	1	1	3
7	原油高・原材料高騰	31%	33	10	3	4	1	15
8	海外事業展開	0%	0	0	0	0	0	0
9	その他	0%	0	0	0	0	0	0

今後望まれる補助金として「原油高・原材料高騰」との回答が最も多く、続いて「設備投資」との回答が多い結果となりました。

今回の調査結果は以上となりました。ご協力ありがとうございました。